

CMSC千葉 勅使川原光

ニュージーランドラリー参戦記

3年目のニュージーランドラリー。昨年より出場メンバーが良く、私の出場クラスのグループNでは、あげたらきりが無いほどの豪華メンバーです。この中で立てた目標が3位。リタイヤ覚悟の目標でした。

7月27日にスタート。SS2のベストタイムでグループNのリーダーへ。幸先の良いスタートで、leg1はグループN6位、日本人クルー1位でした。leg2はマイナートラブルの為、順位を上げられませんでした。leg3のSS23では再びベストタイムと気合いが入ります。しかしleg4ではブレーキトラブル発生で、順位

ハングリー精神で挑戦

キープのまま終了。アタックし続けたかったのですが、スローダウンという非常に残念な結果になってしまいました。

プライベート参加の為、お金をかけずにどこまでやれるか、ワークスに一泡ふかせてやれ、とハングリー精神でやってきました。プライベートとしては非常に満足な結果だと思います。ラリーアートジャーナ一部隊や、三菱ワークスのオルディンスキーよりも速いタイムを出せることが実証でき、後は車を同レベルに仕上げれば(これが一番問題、お金がかかる場所である)十分にトップを争えることが判ったからです。今後の海外活動は未定ですがスポンサーを獲得し、ぜひともワークスと対決したいものです。



CMSC岩手 四戸岳也

'95ツール・ド・東北参戦記

7月29・30日、SS5本(ダート)を含む250kmのラリーは、激戦が予想される中スタート。

私はCクラスに愛車ランサーEvoIIで臨み1STのSS1(3.1k)でベストから3秒、SS2で3秒の差、ナビも無難にこなし1ステージをトップから8秒差の6位で折り返しました。林道ダートは完全な乾燥状態では

自己最高位でフィニッシュ!

こりがひどく、Cクラスの後半セクセンの選手には不利なはずが、シード選手はベストタイムを競い合うラリーとなりました。2STが始まり波乱がおきます。勝負を賭けたBクラスの半数がSS3・4でリタイヤし、Cクラスもトップクラス3台がコースアウトする大変エキサイティングな展開になりました。12CPと5SS(約15km)をこなし翌朝4時30分に弘前のゴール会場に到着した時は、ナビの加藤君と「いやー精魂使いきったジャー!」と言いつつほのぼのとした気分でした。結果はBC地区3戦目で自己最高の4位で終わりました。



した。今後の目標も出来、充実したラリーでした。もっと練習するぞ!!!!

CMSC山形 赤羽政幸

ラリーオブマレーシア参戦記

ラリーを終えた喜びの中、仲間が迎えてくれた最後のサービスで車をきれいにしてもらい、セレモニーに向けてクリアランプールに出発。自分のポジションもあやふやなまま指示に従い隊列を整えました。5分程の道程をセレモニーの行なわれる公園までコンボイするのですが、封鎖された道路を警察官の先導で走った時の気持ち良かったこと。フィニッシュ台でシャンパンファイトが待っているとは思ってもやらず、

嬉しかったシャンパンファイト

初めて成績が分かりました。恐る恐るボンネットに立ち、振りかけたシャンパンは嬉しかった。



1日目は完走 満足感溢れる万歳の赤羽選手(左)。来年の挑戦にも意欲的です。するつもりで慎重な走り。2日目、攻めて走ろうとしましたがコーナーを止まりきれず行き過ぎたりミスコースしたりと、タイムに結び付けられず少々いらいら。これほどの長時間、長距離は初体験で10本位SSを終わった所で根を上げそうになりました。3日目、慣



れてきたせいか気持ちよく走れました。思い切り走りたいのと、完走しなきゃという気持ちで複雑でした。サービスの皆の喜ぶ顔と、楽しかったという言葉が嬉しく、また頑張って来年も海外ラリーに挑戦したいと思いました。

CMSC青森 7月29・30日

'95ツール・ド・東北

今年のツール・ド・東北はJAF地方ラリー選手権BC地区第6戦として開催しました。昨今の状況から参加台数不足が懸念されましたが、CMSC千葉の丹羽選手、CMSC群馬の船津選手を始め多くのCMSCメンバーが参加して下さり、台数も規定の60台に近い58台となりました。また、前日28日にはささ

クラブ員の努力に感謝

やかではありましたが歓迎の意味を込めて前夜祭を行い、大いに盛り上がりました。

さて、ラリーは前年からの集合場所となった岩木山総合公園を午後7時1分にスタート。岩木山周辺から昔(7・8年前)使っていた旧弘西林道を通り1ステージを終了。再スタート後、SSで若干のコースアウトもありましたが翌30日朝方無事ゴール。

数ヶ月前からのコース設定や整備、特にSSコースの草刈りには早朝から多くのクラブ員が協力してくれ、その努力の結果がラリー成功につながった



レース前の情報交換(左)とスタート風景(右)。

思います。クラブ員と関係各位のご協力ご支援に感謝致します。モータースポーツの灯を消す事なく今後もラリー開催を続けて行きたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

CMSC島根

7月16日

日本海シリーズジムカーナ

バブル崩壊以来エンタラントが減る一方の日本海(山陰)シリーズ戦ですが、今年も最盛期の半分以下に落ち込み、運営すら危うくなるような状況でした。しかし今回CMSC島根は「人望(?)」と「営業活動」のおかげで90台のエントリーと「激晴れ」に恵まれ、幸いでした。特にクローズド勢が3分の1以上を占めるに至っては「未来は明るい!」とオフィシャル同握

エントリー確保で未来は明るい!?

りこぶしに力をこめて進行しました。完成後日の浅い備北ハイランドパーク新コースでイケイケ全開コースを設定した為「ファーストイン・コースアウト」車が連発し、復旧作業でクラブ員がみるみるうちにポロゾーキンの様になっていく様は涙なくしては語れません。

公認クラスも他シリーズからの乱入組と常連組とが酷暑をさらにアツクする闘いを見せてくれました。当クラブ恒例の「冷たいジュースサービス」「出走写真全員プレゼント」「おまけイベント」「全日本戦より厚い18ページのエンタラントリスト」「莫山発言実況



アナ」等の企画が大ウケで、夕刻まで楽しい一日を過ごせました。来年は何台のエントリーがあるか(特にクローズド陣)楽しみに皮算用をしている今日この頃です。(CMSC島根 古藤浩美)

CMSC島根

8月6日

チャレンジカップダートトライアル

例年のように今回も大会当日はピーカンの快晴。連日の好天で気温もぐんぐん上がりオフィシャルは暑さと埃との戦いとなりました。エントリーは40台弱と寂しかったのですが、しっかりアクセルを踏んでもらえるようにコースを設定しました。

暑さとほこりとの戦い

特に大きなトラブルもなく、スピーディーな運営で競技が進み、エンタラントの皆さんは思いっきりアクセルを踏んでいました。表彰式での三菱賞は特に好評で「これがあるからCMSCのイベントに参加している」といった声も聞かれました。

今年からエンタラントリストに付録が付くようになりました。今までジムカーナで連載していた漫画がとても好評でダートにも掲載することになりました。これは非売品でエントリーすると手に入れることが出来



ます。皆さん、次回是非参加して手に入れて下さい。(CMSC島根 田中 肇)

CMSC帯広

7月23日

ダートラ夏の練習会

今年も恒例になりましたダートトライアル夏の練習会を行ないました。大変よい天気にも恵まれましたが、風向きが悪く土埃が観客の方に来てしまい、車が通

ほこりと日焼けで皆真っ黒

過するたびにみんな逃げ回っていました。第1号車から予定通りの転倒で幕を開けましたが、各車シーズン後半に向けてのセッティングに余念がなく競技会を思わせるような激しい走りを見せてくれました。練習会終了後にはいつものようにジギスカンパーティーを行いました。ダートラ参加者よりも焼肉を楽しみに来ていた人の方

が多かったような気がしますが、埃と日焼けで真っ黒になりながら大いに盛り上がり、楽しい1日を過ごしました。(CMSC帯広 齊藤 学)



道北、首位を快走!青森が4位に浮上。

'95チャレンジカップ

スタート良く飛び出した道北が高得点で2位大阪に491点の大差をつけ独走態勢。青森は道北に次

ぐ高得点で4位に浮上。個人部門では、順位に変化が見られます。次号ではどうなっているのでしょうか。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	959	788			1747
大阪	809	447			1256
群馬	489	596			1085
青森	297	721			1018
山形	413	283			696
岐阜	321	294			615
帯広	398	209			607
島根	331	188			519
浜松	279	226			505
香川	247	214			461
広島	264	186			450
札幌	241	78			319
岩手	152	118.5			270.5
千葉	227	0			227
福島	34	171			205
埼玉	87	65			152
愛知	81	18			99
仙台	55	40			95
栃木	2	50			52
鹿児島	-	40			40

●ラリー・ドライバ部門

田口幸宏	埼玉	91
鎌田 豊	道北	91
杉山 聡	道北	89
小林光敏	道北	81
栗澤 傑	道北	74
大井こずゑ	群馬	73
奴田原文雄	札幌	72
丹羽浩道	千葉	68
四戸岳也	岩手	62
細村謙一	群馬	60

●ラリー・ナビゲーター部門

川村知恵	道北	90
伊吹浩明	帯広	81.5
細村祐子	群馬	60
加藤 徹	岩手	52
山口利久	群馬	33
長谷川好洋	道北	30
金子誠司	群馬	28.5
中村洋次	帯広	24
横山 浩	札幌	20

●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	576
小出久美子	大阪	484
荒井信介	群馬	300
北村和浩	岐阜	234
宝田芳浩	札幌	206
三浦正博	道北	202
八島功敏	山形	200
榎田正文	岐阜	198
大竹公二	大阪	184
大井こずゑ	群馬	183

●ジムカーナ部門

田口 玲	道北	295
丹羽裕一	道北	240
小館 久	青森	160
久保田明	青森	158
山下 亘	道北	140
小寺久美	道北	140
須田行雄	福島	129
宇野慶一	青森	124
工藤裕史	青森	106
面野 一	帯広	74

●レース部門

小川日出生	山形	105
玉本秀幸	浜松	96
高橋 滋	仙台	44
山川敏宏	山形	36
四戸岳也	岩手	28
川口法行	栃木	19.5
吉沼昭彦	栃木	16

●ポイントのつけ方

ポイント	リタイアには予選不通過も含む											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス) 但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップ、NI耐久レースを含む B = それ以外の競技会